



## 水戸地本へ激励行動を行う



東京地本は11月11日、台風の影響が深刻だった水戸地本へ激励行動を行いました。意見交換の中で、水戸地本管内の現状を説明していただきました。

被災した組合員宅の片付けはすでに終了し、いわき市では現在もボランティアを受け付けていますが、ほとんどの地域ボランティアセンターは終了しています。

鉄道の状況では、水郡線は台風の前に郡山側と水戸側に車両を避難させていたので車両に被害は無いものの、橋梁が1か所流されており復旧に1年半程度かかりそうなこと、他の橋梁では両端の盛り土が流されている箇所があることが報告されました。また、運転再開後の状況として、水戸側に車両が非常に少なく、朝の通帯時でも1両運転の時があること、汚物を抜く設備が少ないため車両のトイレが使えない時があり、お客さま対応に苦労していることが出されました。また運用面では、水戸行きの初列車は水戸から回送で持って行くため運転士は3時起床であること、スジを変えずに臨行路で対応しているため乗務員が非効率的な運用が強いられていることから、予備の乗務員がいる場合は活用できないか会社に要請していることが出されました。

東京地本は、これからも組合員に寄り添い、1日でも早く日常生活に戻るよう最大限の支援を続けていきます。